

広島県精神保健福祉協会

会長 山脇 成人

平成27年度事業報告

| 事業名 | 実施年月日場所 | 参加人数 | 事業の内容 | 備考 |
|---------|-------------|---|--|--------------------------------------|
| 会議 | 理事会 | H26. 5. 26 瀬野川病院 | 出席 16人 平成 25 年度事業監査報告及び収支決算 平成 25 年度公益目的支出計画実施報告 及び監査報告 役員の選任 | |
| | | H26. 12. 1 瀬野川病院 | 出席 18人 平成 26 年度収支補正予算について 平成 27 年度事業計画及び収支予算について 平成 27 年度協会長表彰被表彰者選考 | |
| | 総会 | H26. 6. 20 シェラトンホテル広島 | 出席 101人 委任状 672人 平成 25 年度事業監査報告・収支決算・ 公益目的支出計画実施報告及び監査報告 役員の選任 | |
| 普及啓発研修会 | 地域交流支援事業 | 社会福祉法人交響 きつつき第三作業所 | 150人 「地域の中で、いつまでも安心して暮りたい」という願いをもとに、“ほのぼのあけぼの市”を開催。もちつき、模擬店、演奏会等を通して、地域住民、当事者、民生委員等の互いに支え合える、地域の中で助け合える環境作りを図ることが出来た。 | 精神障害者に関連した地域交流事業に対する助成 |
| | | 特定非営利活動法人 高次脳機能障害 サポートネット ひろしま | 85人 これまで実施したことのない備後地域で講演会を開催。地元の当事者と家族の協力を得て、体験談から生活の困りごとに対してどのように対応すべきか、医学的に障害と言われている記憶障害、認知障害、注意障害が生活でどのような現れ方をするのか、その対応法を学んだ。生活の中の事はわからないことが多いので、高次脳機能障害の実態を聞いていただくことができた。 | |
| | | ピアサロンこころ | 17人 日頃あまり面識のない地域の支援者と精神障害を持つ当事者が調理、会食、ゲームを通じてお互いに対する理解を深め合った。 | |
| | 地域精神保健研修会 | H26. 6. 20 シェラトンホテル広島 | 101人 【講演】 「ひきこもり若者のやる気を出す認知行動療法」 講師：境 泉洋先生 (徳島大学大学院リソ・アーツ・アント・サイエンス研究部) | 後援：広島県、広島市、広島県精神科病院協会、日本精神科看護協会広島県支部 |
| | 地域社会交流促進研修会 | H27. 3. 14 広島市安芸区地域福祉センター | 105人 【講演】「発達障害のある人の支援」 ～就労における課題と対応～ 講師：西村 浩二先生 (広島県発達障害者支援センター長) | 後援：広島県、広島市、広島県精神科病院協会、日本精神科看護協会広島県支部 |

| | | | | | |
|---------|-------------------------|---|---|---|--|
| 普及啓発研修会 | 広島県児童思春期精神保健事例検討ワークショップ | H27.2.28 RCC文化センター | 全プログラム：128人 公開レクチャーのみ：55人 | <p>【公開レクチャー】 「教室の中の気になる子どもへの対応・親への対応～愛着障害&発達障害を中心に～」 講師：友田 明美先生 (福井大学子どものこころの発達研究センターAge2 企画 教授)</p> <p>【シンポジウム】 「教室の中の気になる子どもへの対応・親への対応」 シンポジスト： 坂井 千春先生 (広島市立江波中学校養護教諭) 安常 香先生 (広島県西部こども家庭センター 精神科医師) 下妻 玄典先生 (広島県立障害者療育支援センター わかば療育園 言語聴覚士)</p> <p>進行：松田 文雄先生 (松田病院院長)</p> <p>【分科会】 8グループ ファシリテーター：広島県児童思春期精神保健 事例検討ワークショップ 運営委員</p> <p>【全体会】 コーディネーター：浅田 護先生 (浅田病院院長)</p> | 後援：広島県教育委員会、広島市教育委員会、中国新聞社会事業団、明治安田こころの健康財団、広島県精神科病院協会 |
| 相談事業 | ひきこもり相談支援センター事業 | 開設日 中部・北部センター 月・水～土曜日 8：45～16：45 | 相談件数 中部・北部センター 565件 西部センター 3,571件 東部センター 121件 | 県・市から委託を受け、専門の相談員を置いて相談に応じた | |
| | こころの電話相談事業 | 開設日 月・水・金 9：00～12：00 13：00～16：30 年間143日 | 883件 | 県から委託を受け、専門の相談員を置いて、相談に応じた | |
| | 不眠電話相談事業 | 開設日 月 9：00～13：00 火～金 12：00～17：00 | 118件 | 県から委託を受け、専門の相談員を置いて、相談に応じた | |
| 広報 | 協会ニュース35号 | H26.9.30 | | | |

| | | | | | |
|--------|---|--|------|----|--|
| 後 援 | 第44回広島県 断酒大会 | H26.6.8 府中市保健福祉 総合センター | 338人 | 後援 | 主催：公益社 団法人全日本 断酒連盟、広 島県断酒連合 会 |
| | 平成26年度 広島県認知症 疾患医療セン ター 合同研修会 | H26.9.5 ホテルグランヴ ィア広島 | 405人 | 後援 | 主催：広島県 西部認知症疾 患医療センタ ー、第一三共 株式会社 |
| | 第10回 薬物乱用問題 等 指導者研修会 | H26.7.23 広島市西区民文 化センター | | 後援 | 主催：医療法 人せのがわ |
| | 第14回 広島県障害者 フライングディスク 競技大会 | H26.6.8 東広島運動公園 | 283人 | 後援 | 主催：広島県 立障害者リハビ リテーションセン ター、 スポーツ交流 センター |
| | 心といのちを 守るシンポジ ウム ひろしま2014 | H26.9.7 アステールプラ ザ | 229人 | 後援 | 主催：広島市、 広島市教育委 員会、社会福 祉法人広島い のちの電話 |
| | 自死遺族問題 支援シンポジ ウム | H27.3.7 | | 後援 | 広島市男女共 同参画推進セ ンター |
| | 暮らしとここ ろの総合相談 会 | H26.9.9 ~ H26.9.10 広島駅 エール地下広場 H27.3.17~3.18 | 95件 | 後援 | 主催： 広島弁護士会 |
| | 第9回 広島県障害者 グラウンド・ゴルフ 大会 | H26.11.23 東広島運動公園 | 61人 | 後援 | 主催：広島県 立障害者リハビ リテーションセン ター、 スポーツ交流 センター |
| | 障害者と 広島交響楽団 とのジョイントコ ンサート 開催事業 | H26.12.28 広島国際会議場 | | 後援 | 主催：広島市 主管：広島ふ れあい委員会 |
| | 第35回 全国クレジット・サラ金・ ヤミ金 被害者交流集 会 in 広島 | H26.11.1~11.2 広島国際会議場 広島YMCA国際文 化センター | 457人 | 後援 | 全国クレサ ラ・生活再建 問題対策協議 会、全国クレ ジット・サラ 金被害者連絡 協議会 |
| | 第19回広島県 障害者卓球大 会（知的障害 者・ 精神障害者の 部） | H27.2.15 スポーツ交流セン ター | | 後援 | 主催：広島県 立障害者リハビ リテーションセン ター、 スポーツ交流 センター |

| | | | | | |
|------|-------------------|-------------------------------------|--|--|--|
| 関係会議 | 広島県障害者社会参加推進センター | H26.6.18 広島県社会福祉会館 | | 平成25年度事業報告及び決算報告 平成26年度運営事業費収支予算 行政説明 | |
| | ひろしま健康づくり県民運動推進会議 | H26.6.23 H27.3.24 広島県健康福祉センター | | 平成25年度事業実績報告及び決算報告 平成26年度事業計画及び予算 平成27年度事業報告 | |
| | 元気じゃけんひろしま21推進会議 | H27.3.12 広島市役所 | | 「元気じゃけんひろしま21(第2次)」の 取組み、進捗状況報告について | |
| 関係会議 | スポーツ交流センター運営会議 | H26.7.9 スポーツ交流センター | | 平成25年度事業実績報告及び決算報告 平成26年度事業計画及び予算 | |

平成28年度事業計画

1. 精神保健福祉相談事業

(1) 精神保健相談指導を通して、県民の心の健康の保持・増進を図るため、次の事業を実施する。

・県の委託を受けた「こころの電話」相談事業

目的：こころの健康に対するあらゆる問題、悩み、トラブル等について、気軽に利用可能な電話で相談に応じ、その理解と対応をアドバイスする。

受付：月、水、金曜日（9：00～12：00、13：00～16：30）

※第2、4金曜日には医師による相談も行う

(2) 広島県ひきこもり地域支援センター事業

目的：ひきこもり本人、家族からの電話、来所、訪問などを実施し、適切な関係機関へつなげる。

受付：中部・北部センター 月、水、木、金、土曜日（8：45～16：45）

東部センター（サテライト型） 火、金曜日（9：00～17：00）

2. 精神保健福祉普及啓発研修事業

(1) 一般社団法人広島県精神保健福祉協会長表彰の実施

多年にわたり、精神保健福祉活動を続け、優秀な成果をあげた個人及び団体を功労者として表彰し、その功績を称え今後一層の活動を期待するとともに、あわせて精神保健福祉活動の向上と県民の精神的な健康の保持を図る。

※総会において挙行

(2) ホームページの運用

インターネットを利用した様々な情報発信により、県民の心の健康の問題と、協会への関心を高めることにより、運営基盤の安定を目指す。

(3) 地域交流支援事業（3ヵ所×5万円）

精神障害者と地域住民等との交流を促進する事業に対し、1ヶ所につき5万円の助成を行い、精神障害者の自立と社会復帰を促進する地域社会づくりを支援する。

(4) 協会ニュース（37号1,000部発行）の作成、配布

(5) 液晶プロジェクターの貸出し事業

保健文化賞の賞金をもとに、平成12年度に購入した液晶プロジェクターについて、精神保健福祉を推進する事業（研修会等）に貸出を行う。

(6) 精神保健福祉関係者研修事業

精神保健福祉関係者の資質の向上を図るための研修会の開催

・地域精神保健研修会

対象：地域に在住する精神障害者を支援する関係者の方。

ねらい：精神障害者を支援する関係者の専門的な知識・技術の向上を図る。

期日：平成28年6月（予定）

・地域社会交流促進研修会

対象：精神障害者社会復帰施設等において援助を行っている職種の方。

ねらい：精神保健福祉に関する知識及び技術の習得。

期日：平成29年3月（予定）

(7) 地域精神保健活動推進事業

地域精神保健活動の推進を図るため、次の事業を実施する。

- ・当事者グループに対する援助

（精神障害者家族会・断酒自助グループ・認知症の人と家族の会）

3. 広島県児童思春期精神保健事例検討ワークショップ事業

対象：児童思春期精神保健の領域で治療・指導・相談・教育に携わっている方。

ねらい：児童思春期問題に関わる専門家に、知識の習得、臨床技術の向上と地域精神保健のネットワーク活動を展開していくための手法を学ぶ。

内容：講師及び受講者から提出された事例の検討、並びにネットワーク形成についてのディスカッション。

期日：平成29年2月（予定）